



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ロイヤルホテル
 コード番号 9713 URL <http://www.rihga.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川崎 亨
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務チーム長 (氏名) 坊傳 康真
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 06-6448-1121

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	19,245	△0.2	758	37.6	403	△13.0	1,164	—
28年3月期第2四半期	19,293	△6.0	551	—	463	—	△1,688	—

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 1,186百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 △1,655百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	11.36	7.23
28年3月期第2四半期	△16.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	67,266	12,527	18.6
28年3月期	67,354	11,341	16.8

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 12,527百万円 28年3月期 11,341百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,600	0.2	2,200	7.1	1,800	1.7	2,700	—	26.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	102,716,515 株	28年3月期	102,716,515 株
29年3月期2Q	276,722 株	28年3月期	276,282 株
29年3月期2Q	102,440,107 株	28年3月期2Q	102,449,163 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビューは終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループで判断したものです。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る 1 株当たり配当金の内訳は以下のとおりであります。

A種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	0.00			
29年3月期(予想)			—	0.00	0.00

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8
4. 補足情報	10
生産、受注及び販売の状況	10
決算発表 補足資料(個別業績)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や個人消費に伸び悩みが見られるなど、景気の足踏み状態が続いており、年初来の円高進行や株価下落、英国のEU離脱問題等の影響により、先行きは依然として不透明な状況が続いています。

ホテル業界においては、新規出店の増大等により競合環境は激化しているものの、訪日外国人数が前年を上回るペースで推移していることなどから、宿泊需要は引き続き堅調に推移しています。

こうした環境下、当社は昨年11月に策定した3ヶ年の中期経営計画の実現に向けて、「コア事業の持続的成長」、「品質の更なる向上」、「経営基盤の強化」を重点施策として、収益の拡大に努めました。

「コア事業の持続的成長」に向けた取り組みとして、営業面では、堅調な宿泊需要を最大限取り込み、収益機会の最大化に努めてまいりました。また、施設面では、リーガロイヤルホテル(大阪)の客室94室について改装を進めた他、チャペル「カロスクロノス」を、光と緑があふれる屋内庭園を併設する優美でエレガントな「ナリサチャペル」としてリニューアルいたしました。リーガロイヤルホテル広島では、レストラン&バー「スカイラウンジ リーガトップ」を改装したことに加えて、広島市内ホテル最大級の規模を誇るチャペル「リュヴェール」を“森の湖畔に浮かぶ白いチャペル”をコンセプトにリニューアルいたしました。リーガロイヤルホテル京都は、改装工事により約7ヵ月間にわたり全館休業しておりましたが、今年9月、京の風情と現代的なデザインが散りばめられたホテルとしてリニューアルオープンしました。

「品質の更なる向上」に向けた取り組みとして、リーガロイヤルホテル(大阪)の大型基幹設備の整備を進めました。また、施設管理スタッフのメンテナンス業務集中化を推進しました。

「経営基盤の強化」に向けた取り組みとして、外国人スタッフの採用を強化するなど人材基盤の強化を図りました。また、平成28年9月27日に総額380億円のシンジケートローン契約を締結し、既存の借入金を実行契約にリファイナンスし、財務の安定性を向上させるとともに成長に向けた基盤強化に取り組んでまいりました。

このように収益拡大に向け様々な施策に取り組んでまいりましたが、リーガロイヤルホテル京都の改装休業に伴う運営受託料の減少や、熊本地震発生に伴う需要の落ち込み等により、当第2四半期連結累計期間の売上高は、19,245百万円と前年同期比48百万円の減収となりました。

損益面では、営業利益758百万円(前年同期比207百万円の増)、経常利益403百万円(前年同期比60百万円の減)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,164百万円(前年同四半期連結累計期間は親会社株主に帰属する四半期純損失1,688百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ88百万円減少し67,266百万円となりました。

内訳では流動資産が同261百万円増加し7,410百万円となりました。これは現金及び預金が611百万円増加したこと等によります。固定資産は同349百万円減少し59,855百万円となりました。これは投資有価証券が171百万円減少したこと等によります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,274百万円減少し54,738百万円となりました。これは買掛金が287百万円減少したこと等によります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ1,186百万円増加し12,527百万円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の業績予想につきましては、本日公表の「固定資産の譲渡及び特別利益の計上に関するお知らせ」のとおり、固定資産譲渡に伴う特別利益(固定資産売却益)の計上等により、前回予想を上回る見通しとなりましたので、平成28年5月13日に公表いたしました業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日公表の「業績予想値と決算値の差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,975	3,586
売掛金	2,290	1,953
原材料及び貯蔵品	363	371
その他	1,520	1,499
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	7,149	7,410
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	68,878	69,115
減価償却累計額	△53,650	△54,053
建物及び構築物(純額)	15,228	15,061
土地	28,062	28,062
リース資産	2,829	2,733
減価償却累計額	△1,266	△1,275
リース資産(純額)	1,563	1,457
その他	5,910	5,980
減価償却累計額	△4,839	△4,769
その他(純額)	1,071	1,210
有形固定資産合計	45,925	45,792
無形固定資産		
リース資産	303	263
その他	57	49
無形固定資産合計	361	312
投資その他の資産		
差入保証金	13,059	13,034
その他	860	723
貸倒引当金	△1	△7
投資その他の資産合計	13,917	13,750
固定資産合計	60,205	59,855
資産合計	67,354	67,266

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,314	1,027
短期借入金	8,516	1,704
賞与引当金	160	400
その他	4,242	3,576
流動負債合計	14,234	6,709
固定負債		
長期借入金	27,417	34,088
退職給付に係る負債	5,805	5,754
商品券回収損引当金	170	170
資産除去債務	2,018	2,029
その他	6,366	5,985
固定負債合計	41,779	48,029
負債合計	56,013	54,738
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,229	13,229
利益剰余金	△1,968	△804
自己株式	△58	△58
株主資本合計	11,201	12,365
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	58	22
土地再評価差額金	657	657
退職給付に係る調整累計額	△577	△518
その他の包括利益累計額合計	139	161
純資産合計	11,341	12,527
負債純資産合計	67,354	67,266

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	19,293	19,245
売上原価	4,651	4,477
売上総利益	14,641	14,767
販売費及び一般管理費		
水道光熱費	1,230	1,159
人件費	6,292	6,574
諸経費	6,567	6,274
販売費及び一般管理費合計	14,090	14,008
営業利益	551	758
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	2	2
受取保険金	2	7
債務勘定整理益	7	5
その他	19	16
営業外収益合計	33	33
営業外費用		
支払利息	104	231
シンジケートローン手数料	-	132
その他	17	25
営業外費用合計	121	388
経常利益	463	403
特別利益		
受取補償金	-	418
特別利益合計	-	418
特別損失		
固定資産除却損	12	69
減損損失	1,816	25
環境対策費	-	5
訴訟関連損失	256	-
特別損失合計	2,084	100
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△1,621	721
法人税、住民税及び事業税	103	187
法人税等調整額	△36	△630
法人税等合計	67	△442
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,688	1,164
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,688	1,164

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,688	1,164
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6	△36
退職給付に係る調整額	38	58
その他の包括利益合計	32	22
四半期包括利益	△1,655	1,186
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,655	1,186
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

固定資産の譲渡について

当社は、平成28年11月11日開催の取締役会において、固定資産の譲渡を行うことについて決議いたしました。

1. 譲渡の理由

当社は、経営資源の有効活用の観点から、下記不動産2物件について売却することを決議いたしました。

2. 譲渡資産の内容

(1) 物件1

資産の内容及び所在地	帳簿価額 (平成28年9月30日現在)	譲渡価額	現況
大阪府大阪市北区中之島6丁目6-7、30-11 土地面積：737.45㎡	441百万円	680百万円	店舗底地

※ 譲渡益は、譲渡価額680百万円から帳簿価額441百万円及び譲渡に係る諸費用を控除した概算で、約220百万円となる見込みです。

(2) 物件2

資産の内容及び所在地	帳簿価額 (平成28年9月30日現在)	譲渡価額	現況
大阪府茨木市庄1丁目21-4、21-7、21-8、 25-1、25-4 土地面積：1,750.56㎡ 建物面積：790.05㎡	340百万円	471百万円	工場

※ 譲渡益は、譲渡価額471百万円から帳簿価額340百万円及び譲渡に係る諸費用を控除した概算で、約120百万円となる見込みです。

3. 譲渡先の概要

(1) 物件1

譲渡先につきましては不動産業を営む国内法人1社ですが、先方との間で締結した守秘義務契約により公表を控えさせていただきます。

なお、当社と譲渡先との間には資本関係・取引関係はありますが、人的関係及び関連当事者として特記すべき事項はありません。

(2) 物件2

譲渡先につきましては不動産業を営む国内法人1社ですが、先方との間で締結した守秘義務契約により公表を控えさせていただきます。

なお、当社と譲渡先との間には、記載すべき資本関係・人的関係・取引関係及び関連当事者として特記すべき事項はありません。

4. 譲渡の日程

平成28年11月11日	取締役会決議
平成28年12月上旬	契約締結(予定)
平成28年12月中	物件引渡(予定)

5. 業績に与える影響

当該固定資産の譲渡に伴う譲渡益約340百万円は、平成29年3月期第3四半期連結決算において「固定資産売却益」として特別利益に計上する予定です。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

部門別売上実績

(単位 金額：百万円、構成比：％、増減比：％)

部 門	当第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)		前第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)		比 較	
	金 額	構成比	金 額	構成比	増減	増減率
客 室	5,006	26.0	4,674	24.2	332	7.1
宴 会	6,363	33.1	6,482	33.6	△ 119	△ 1.8
食 堂	4,191	21.8	4,111	21.3	79	1.9
そ の 他	3,684	19.1	4,024	20.9	△ 340	△ 8.5
合 計	19,245	100.0	19,293	100.0	△ 48	△ 0.2

(注1) 受注生産は行っておりません。

決算発表 補足資料 (個別業績)

部門別売上

(単位 金額：百万円、構成比：%、増減比：%)

部 門	当第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)		前第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)		比 較	
	金 額	構成比	金 額	構成比	増減	増減率
リーガロイヤルホテル(大阪)						
客 室	2,549	23.4	2,303	18.2	246	10.7
宴 会	3,549	32.7	3,553	28.1	△ 3	△ 0.1
食 堂	2,401	22.1	2,263	17.9	137	6.1
そ の 他	2,369	21.8	2,735	21.6	△ 365	△ 13.4
計	10,869	100.0	10,855	85.8	14	0.1
リーガロイヤルホテル東京	—	—	1,795	14.2	△ 1,795	△ 100.0
合 計	10,869	100.0	12,650	100.0	△ 1,781	△ 14.1

(注1) 上記個別業績数値については、監査法人による四半期レビューの対象ではありません。

(注2) リーガロイヤルホテル東京は、平成28年2月1日付で、会社分割（新設分割）により当社の子会社となっております。